



Hiroshima City University Language Center

広島市立大学語学センター

Newsletter No.69 (2022.11.1)



仏検（実用フランス語技能検定）準2級 合格への道のり

2022年度春季実施（1次試験：6月、2次試験：7月）の仏検準2級に、国際学部2年生の2名の学生が見事合格したという嬉しいニュースが届きました。

準2級は「日常生活における平易なフランス語を、聞き、話し、読み、書くことができる」とされ、大学の3年修了程度の学習時間が目安とされています。

大学でのフランス語学習開始から1年と数か月で合格した二人に、学習方法や今後の目標などについて書いてもらいました。

目次

仏検準2級 合格への道のり	1
国際学部2年 森下 瑠仁	
国際学部2年 川本 晴音	
「外国語学習と自動翻訳」国際学部准教授 森田 光宏	2
渡航規制緩和で留学生がキャンパスに戻ってきた!	2
Meet the Language Tutors!	3
ドイツ・ハノーバー専科大学 KRIEGENBURG, Arina	
フランス・レンス第2大学 HATREL, Aidan	
フランス・オルレアン大学 VORONOVICH, Alexander	
知のトライアスロン、JLPT オンラインハーフ模試、 夏休休暇課外プログラムを実施しました 他	4

アフリカへ行きたい！高校2年生でセネガルへ 国際学部2年 森下 瑠仁



◆セネガル子どもたちと

この度、2022年度春季実用フランス語検定の準2級に合格することができました。今からちょうど1年前、私は同じ場所で同じ級の試験を受けたのですが、当時は合格点数まで2点及ばず、とても悔しい思いをしました。今年は見事、そのリベンジを果たせたことを大変うれしく感じています。

私は中学校を卒業した直後からフランス語の学習を独学でしていました。高校生のころは主に文法とラジオを使ったリスニングを中心にフランス語を勉強しており、動詞の活用や聞き取りには自信があったため、仏検準2級の対策としては単語や慣用句を覚えるといったボキャブラリーの補充を中心に行っていました。

私がフランス語を勉強するきっかけを得たのは、アフリカに行きたいという夢を持ったおかげです。私は小さな頃、地球儀や国旗を見るのが好きで、国旗の配色やデザインが気に入った国が多くあるという理由からアフリカに興味を持ち始めました。小学校高学年や中学生になると、授業の一環として貧困や環境などのアフリカが抱える問題について触れるようになり、一度アフリカがどんな場所なのか自分の目で確かめてみたいと思うようになりました。中学3年生のころ、アフリカではフランス語が広く使われていることを知り、高校受験が終わった後、古本屋で参考書を探したり、毎月NHKのフランス語ラジオ講座のテキストを購入したりして教材を集め、フランス語の学習を独学で始めました。

高校生だった当時、家から学校までの登校が電車、バス、地下鉄を利用して片道1時間30分かかったので、スマー

トフォンとイヤホンがあれば聴ける NHK のラジオ講座はその時間特に活用していました。リスニングをかなり鍛えられると思うのでお勧めです。また、高校の図書館にフランス語の絵本や童話などの読みやすい本が置いてあったので、それを読むことから始めて次第に長い文章にも触れるようになり、ごくたまにフランス語のネットニュースなども調べて読んでいました。

フランス語の学習を始めて半年ほど経った頃、インターネットで世界各国の学生が西アフリカのセネガルにあるストリートチルドレンの保護施設にて子供たちへのケア活動を行うというプロジェクトを見つけ、両親の協力もあって高校2年生の夏休み期間にプロジェクトに参加することができました。写真は、活動最終日に施設の子どもたちと撮影したものです。

フランス語に出会うまで私はずっと、勉強は学校でよい成績を取り、受験を成功させるためのものだと考えていました。私にとってフランス語は、自分が持っていた「勉強」という概念を変えてくれた言語です。古本屋で216円でフランス語の参考書を手にしたあの日、学校の成績や受験にとらわれない勉強というものを初めて知りました（毎日のように持ち歩いていたのでかなりボロボロになりましたが、今でもその参考書で学習しています）。外国語を誰かから教わることなく1から自分で学んだのも初めての経験で、英語にはない発音や見慣れない文法や単語に魅力を感じ、新しいことを学ぶという楽しさを知ることができました。アフリカに行く夢が叶った後も、フランス語の勉強を続けていきました。今回の実用フランス語検定準2級合格は、自身のフランス語の力を伸ばすための通過点に過ぎないと私は思っています。この試験の合格を自信にして、さらなるフランス語の学習を進めていくつもりです。

通学時間を活用、フランス語学習を習慣化 国際学部2年 川本 晴音

私がどのようにフランス語を勉強しているかをお話しします。

私は勉強する時に家では全く集中できないので、大学に来るまでの死ぬほど長い通学時間を使って、フランス語の単語を覚えたり、参考書を読んだりしていました。もちろんたっぷり時間をとってやるのが良いですが、どれだけ少なくとも毎日やるべきだと思います。また、人によるとは思いますが、単語などをひたすら書いて覚えるのは好きではないので、スペルに自信がない単語以外は書かずに声に出して読んで覚えていました。文法は主に仏検対策の補習で大場先生が詰め込んでくれたので、簡単な文法はわかるようになりました。家では基本的に単語はやらず、適当な問題を解いていました。個人的にフランス語は単語がほ

ぼ英語なので仏検3級や準2級レベルであれば読むだけならそこまで難しくはありませんでした。英語の難易度の高い単語を覚えたり、フランス語の単語を覚えたりすると共通する単語が多いのでかなりお得な感じがします。ただ、発音や名詞の性別の有無などが英語と大きく異なるので話せと言われるととても難しいです。

フランス語でちゃんと会話できるレベルまではまだまだ遠いのでそこを目指して頑張っていきます。



◆オルレアン大学（フランス）からの留学生と仲良く！

ミニコラム 外国語に想う【53】

外国語学習と自動翻訳

国際学部 准教授
森田 光宏

外国語で話すときには、ドラえもんに出てきた「ほんやくこんにやく」が欲しくなる。食べるだけで、相手の言うことが日本語で聞こえるし、こちらが話したことは相手の言語にしてくれる。「ほんやくこんにやく」があれば、苦い思い出も少なかったはず。アメリカで16枚コピーを頼んだら、60枚来た時の重さ。フランスで店名も分からず入ったレストランがドイツ料理屋で、そこで食べたザワークラウトの酸っぱさ。オランダで駅名が聞き取れずに乗り過ごし、特急列車から、次々に過ぎていく駅を見続けた絶望感。当時は、いずれも「これ終わった」と感じたが、今となっては、大して苦くもない思い出だ。

便利な自動翻訳が出てくると、こんな大したことのない失敗が少なくなって怖いと思う。小さな失敗を繰り返して、慎重になることができるし、失敗をしないように試行錯誤を繰り返すことができる。同時に、相手の失敗にも寛容になれる。自分も相手も不十分だからこそ、互いをリスペクトできる。母語でコミュニケーションを取っているときでも、本当は互いへのリスペクトはあるべきなのだけれど、なかなか意識に上らない。それは、互いの不

十分の割合が小さいからだ。だからこそ、外国語で小さく失敗しておくことは重要なのだ。

自動翻訳でさらに怖いのは、失敗の責任が誰のものかということだ。失敗した場合に、「このこんにやくが悪いんです！」と言えないだろう。その道具を使っているのは自分なのだから。便利でも道具は道具なのだ。いや、便利だからこそ、その使用者の責任はより大きくなる。

と偉そうなことを書いてみたけれど、やはり「ほんやくこんにやく」を出されたら食べてしまう。皆さんも食べてしまいますよね？大事なことは、この道具とどう付き合うかだ。自分を助けてくれる、ちょっと便利な道具というくらいが丁度良いかもしれない。コミュニケーションの主体は自分であり、成功も失敗も、両方とも自分のものだ。



◆「ほんやくこんにやく(?)」と

渡航制限緩和で留学生がキャンパスに戻ってきた！ ランゲージラウンジは対面レッスンでにぎやかに

新型コロナウイルス感染症パンデミックに伴う各国の渡航制限により、2020年度以降、本学に来学予定だった多くの留学生が自国での待機を余儀なくされていましたが、今年度4月、日本政府の渡航制限緩和により、ようやく来学が叶いました。

ランゲージチューターの登録者数も増え、今年度前期は、日本語、中国語、ハングル、英語、フランス語、ドイツ語、ロシア語のレッスンが行われました。

ドイツ・ハノーバー専科大学からの派遣留学生 Arinaさんは、昨年度、ドイツで待機中に、市大の日本語チューターから日本語レッスンをオンラインで受けていましたが、今年度は市大でドイツ語と英語のチューターとしてレッスンを行いました。詳細は、次ページの記事をご覧ください。



◆レッスンするペアでにぎわうランゲージラウンジ

日本語ランゲージチューター対象 ガイダンス開催



◆ガイダンスの様子

昨年度に引き続き、日本語ランゲージチューター登録者を対象としたガイダンスを下記のとおり開催しました。

担当された重田美咲先生（国際学部准教授 日本語教育）は、参加者から日本語レッスンを開始するにあたって気になることや質問を募った後、「相手が何をしてほしいのかをよく知ること」「大学生活のサポートもレッスン教材になる」のように、次々と素早く明快に回答されました。参加者は熱心にメモを取り、レッスン開始の心構えもできたようです。

日時： 5月12日（水）12:20-12:50
場所： 語学センター 404AB 教室
参加人数： 10名

Meet the Language Tutors!

ドイツ語・英語

ドイツでは日本語オンラインレッスンを受け、
市大ではチューターとして "real" なドイツ語と英語をレッスン！

ドイツ・ハノーバー専科大学 **KRIEGENBURG, Arina**



◆宮島で

こんにちは！

I'm Arina, a singer and artist from Hanover, Germany and am currently studying Media Design at the Hochschule Hannover. I always had a big interest in Japan, the culture, the art, but especially the language was always fascinating to me. Originally I was supposed to come to Hiroshima in September 2019, but because of the Coronavirus I had to wait and actually attended the HCU via online classes in the winter semester in 2021. During that time I also had some tutoring lessons, all the way from Germany with a eight hour difference. I was excited to finally speak Japanese in an actual conversation and we talked a lot about things to do in Japan and Germany, since my tutor was coming to Hanover!

When it was finally time for me to come to the HCU I was really eager to give back and happy to see how many people were interested in learning with me! I taught five people in total, either English or German, both online and in person, which was a nice change of pace. I have a fascination for languages and I really love teaching - humor, proverbs and grammar all work so differently and it was really fun to talk about the differences. I was really keen on teaching "real" English or German, so how young people usually talk, in hope

to make it more accessible and usable in the future.



◆レッスン風景

フランス語・英語

Sharing cultures through language

フランス・レンヌ第2大学 **HATREL, Aidan**



◆京都、伏見稲荷大社で

My name is Aidan, I came to study from France, Rennes University, as an International student in HCU. Back in France, I graduated in English, and I was a teacher for a short time in England, so I have a strong relation with languages. I have taught English and French in Hiroshima.

I think the tutoring space is a great opportunity on both sides, as it goes beyond simply learning a language but learning about the culture as well. In class you may not learn about the history of words, why it makes sense to use specific

words, specific grammar, etc. Language tutoring is a more fun way of practicing.

I was supposed to come to Hiroshima for a full year, but because of the pandemic, I could only come for 4 months and a half. While in France all restrictions have been lifted, in Japan we had to wear masks and respect COVID rules, which felt a little weird. I would definitely want to come back to Japan once things go back to normal. I still had plenty of fun experiences in Japan, and the privilege of not having a lot of tourists when visiting famous places.



◆大阪・万博公園で

ロシア語・フランス語

Tutoring is a very fun experience!

フランス・オルレアン大学 **VORONOVICH, Alexander**



◆レッスン風景

Hello, I'm Alexander and I came from France, Orleans university. In Orleans I was studying Japanese and English applied to the economy and corporate affairs. For a long time I have been interested in Japan and the Japanese culture.

When finally I had the opportunity to go to Japan and to the Hiroshima City University in April 2022, I was particularly happy even if I stayed only 4 months instead of a year because of the covid-19 outbreak.

As I was born and lived in Russia before to move to France, I can speak fluently Russian and French. So I had tutees in these 2 languages (4 in Russian and one in French). I had never taught any languages before my arrival at HCU, so I had the occasion to realize at which point it can be difficult to teach a language, even if it's your native language. I never thought before about to teach something to someone but it was clearly an amazing experience ! Even if I wasn't fluent in Japanese at all, sometimes it was hard to explain some particular grammar points to my tutees but with some efforts and devotion I could explain what I wanted ! Seeing my tutees to do many efforts in learning languages and their will to know more about it really surprised me ! Hiroshima City University had a very good idea to implement the tutoring program because it's a very fun experience which allows to learn from different people and make new friends. Everyone at the Hiroshima City University, teachers and students, were so nice and comprehensive. They made me feel at home ! Hiroshima City University gave me the possibility to learn and discover a plenty of funny things. I really enjoyed my stay in Japan and I want to go back like never before !

2022年度 前期 いちだい知のトライアスロン

映画 DE 学ぼう!



『外国語（英語・第二外国語）を映画から学ぼう』をコンセプトに、ランゲージラウンジで紹介上映を行いました。前期は英語での上映で、4月は、今年アカデミー賞国際長編映画賞を受賞し、広島が主舞台の「ドライブ・マイ・カー」を上映し、多くの方に関心を持ってご覧いただきました。

上映映画をもっとじっくり視聴したい人は、自習室で視聴可能です。窓口でお問い合わせください。

期間 : 2022年4月18日(月)～2022年7月29日(金)

場所 : ランゲージラウンジ

作品 : 4月「ドライブ・マイ・カー」
5月「モンスターズ・ユニバーシティ」
6月「ハリー・ポッターと賢者の石」
7月「トイ・ストーリー」

言語 : 英語



2022年度 前期 JLPT N1-N5 オンラインハーフ模試を実施しました

昨年度に引き続き、全留学生を対象としたJLPT日本語能力試験対応のオンライン模擬テスト(eラーニング)を実施しました。受講期間はJLPT受験日直前の1か月間で、受講期間に2回分の模擬試験を受け、その後に復習しながら受験対策ができます。

後期は11月～12月に実施予定です。

学習内容 : JLPT日本語能力試験対応模擬テスト
(N1～N5全レベル)

受講期間 : 6月4日～7月3日

受講者数 : 2名(内訳:N1-2名)



夏季休暇課外プログラムを実施しました

夏休みの期間中、本学学生を対象としたeラーニングプログラムとオンライン英会話を実施しました。

夏休み課外インテンシブ英語学習プログラム

「CALL 英語集中」「eラーニング英語」と同等内容の他に、リスニング、リーディング、文法に特化したプログラムがあり、それらを1ヶ月で受講するものです。

募集期間 : 7月27日(月)～8月9日(火)
実施期間 : 9月1日(木)～9月30日(金)
受講人数 : 一般プログラム 36名
リスニング特化型 27名
リーディング特化型 6名
文法特化型 15名
文法基礎 3名



レアジョブ英会話 日常英会話コース毎日25分

ブラウザまたはアプリベースで利用できるコミュニケーションツールを使ったマンツーマンオンライン英会話です。学習期間は1ヶ月。受講生は、受講前後にPROGOSスピーキングテスト(AI判定のオンラインテスト)も受験しました。

募集期間 : 8月1日(月)～8月10日(水)
実施期間 : 9月1日(木)～9月30日(金)
受講人数 : 50名



視察報告

6月2日 進路指導教員対象大学説明会 7名
7月1日 広島県立廿日市西高校 28名
7月22日 庄原市立口和中学校 22名
8月31日 広島県立佐伯高校 45名
10月3日 前健一 広島市副市長

語学センターの見学や英語eラーニング体験をしていただきました。



発行日 2022年11月1日
発行 広島市立大学語学センター
〒731-3194 広島市安佐南区大塚東 3-4-1
編集 堀本真由美、沖野佳代
Phone (082)830-1509 [内線: 6410]
Fax (082)830-1794
E-mail lang@m.hiroshima-cu.ac.jp
ホームページ
<https://call.lang.hiroshima-cu.ac.jp/lang/index.html>

